

平成29年度 実施計画

環境部

環境衛生課
環境総務課
環境事業課
乙辺浄化センター

環境部 運営方針

1. 部内組織

部長	奥西 隆	構成課等	環境衛生課	環境総務課
			環境事業課	乙辺浄化センター

2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

地球環境に思いをはせ、我がまちは我が手で守る暮らし

3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・新ごみ処理施設稼働後の現有炉の跡地利用に関する組合及び四條畷市との検討及び協議 ・新ごみ処理施設稼働に伴う地元対策 ・乙辺浄化センターの老朽化に伴う施設の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集委託率の見直し ・環境基本計画の見直し及び推進 ・リサイクルセンター閉鎖後の敷地の有効活用方法の検討 ・寺作業所閉鎖後の敷地の有効活用方法の検討

4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策名称
ごみの減量化とサイクルの推進	市民生活を衛生的で快適に行えるよう、廃棄物の適正処理を行う。 市民・事業者・行政・地域組織が、「もったいない」という気持ちを認識・共有し、ごみの発生抑制、資源の循環利用を協力して行うことで、環境への負担をできる限り低減した循環型社会の形成を目指す。	適正なごみ処理の取組 ごみの発生抑制及びリサイクル推進の啓発
低炭素社会に向けた施策展開	地球環境にやさしい持続可能な社会づくりに向けた取り組みを踏まえて、市民・事業者・行政が協働して事業展開を行う。	低炭素で持続可能な社会づくり
生活環境の保全	市民が心地よく住める環境を守り、公衆衛生の保全に努める。 市民参画のもと環境基本計画を推進する。	生活環境の保全
快適な生活環境をつくる	既存の里山保全活動団体等と協力し、緑豊かな山地・里山の保全と活用を行う。 また、近年拡大しているナラ枯れ木による被害防止等対策を実施する。	自然環境の保全
施設の適正な維持管理・効率的な運営	新ごみ処理施設が稼働するまで、寺作業所を適正に管理・運営するとともに、新施設稼働後の跡地利用を検討する。 乙辺浄化センターの老朽化に伴い、将来的な運営についての検討を行う。	環境衛生の維持・向上

5. 部の現状と取り巻く環境変化

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
専門的な知識が必要な職務が多い。 施設の老朽化及び廃止に伴う跡地利用の検討。	専門的な研修に、職員を積極的に参加させる。 跡地利用については、全庁的な検討も行う。

環境部

環境衛生課

1. 課の目的

低炭素で持続可能な社会の実現に向けた、施策を展開するとともに、地域の環境(水環境、大気環境など)を保全するため、環境調査や事業所規制を行う。
交野市の地域資源である山地、里山を保全し活用を進め、次世代に継承する。
狂犬病予防、衛生害虫、有害鳥獣対策などの生活環境の保全施策を進める。
専用水道・簡易専用水道等及び浄化槽の適正な維持管理を推進し、公衆衛生の向上と生活環境の保全に努める。

2. 課の所掌する施策

低炭素で持続可能な社会づくり、生活環境の保全、自然環境の保全、生活衛生の確保

3. 課の現状と取り巻く環境変化

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
目的を達成するためには、多くの市民・地域の参画が必要である。 市民・事業者・行政による協働を確立する。 環境調査や事業所規制などは、専門性が高いため、人材育成、技術の継承が必要である。 交野らしい自然環境を維持管理していくためには、効率的な業務遂行が必要である。 衛生害虫、有害鳥獣対策については、効果的な業務遂行が必要である。 簡易専用水道等の水道設備設置者及び浄化槽設置者による自主的な維持管理並びに法令遵守が必要である。	参画の場を提供し、開かれた場であることをPRする。 市民団体等の自立を促し、役割分担等を明確にする。 事務的な部分のマニュアル化、専門的な研修への参加、専門職の採用・異動の要望をおこなう。 ボランティア等の協力を得ながら、効率的かつ適切な自然環境の維持管理を継続しておこなう。 衛生害虫の駆除方法等を周知することにより、各家庭での対応を促す。 また有害鳥獣については、継続的におこなうことが減少させる上で必須であり、業務等について広くPRする。 設置者等への啓発を引き続き継続していく。

4. 課の組織力強化のための取り組み

取り組み項目	今年度の目標	昨年度の実施状況
課内の情報の共有化(課内会議の実施等)	週1回の朝会を利用し、情報の共有に努める。	業務予定の報告が主であった。
庁内他部署との連携や協力体制	市民サービス向上、事務事業における環境負荷の低減に向け、庁内他部署と協力体制を行う。	出来る限りの協力は惜しまないが、主担当課が明確でない事案があった。
人材育成・ノウハウ継承(業務マニュアル等)	円滑な知識の継承を行うにあたり、担当枠にとらわれることなく業務にあたる。	担当ごとの育成・継承に努めたが、異動が多かったため担当業務の習得等が主であった。

環境部

環境総務課

1. 課の目的

環境部内における、臨時的、突発的な事業などに対応する事。また、4Rを実践し循環型社会の形成を行う。循環型社会の形成にあたっては人づくりが基本となる。ごみ問題、資源のリサイクルに対する市民の意識を高めるための人づくりの取り組みを行う。

2. 課の所掌する施策

ごみの発生抑制及びリサイクル推進の啓発
適正なごみ処理の取組

3. 課の現状と取り巻く環境変化

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
環境総務課は、環境部内各課の調整、連携などを行う目的もあるが、環境部は、ごみ、し尿、リサイクル、公害、自然、動物等多種多様な業務を行っており、連携、調整が困難なものが多い。また、各課ともに基礎となる事務以外に専門的な業務が多い。	それぞれの事業に対して結論までのスケジュールを作成し、把握し計画的に物事を進めていく必要があり今後取り組む。部内各課と常に情報共有する。

4. 課の組織力強化のための取り組み

取り組み項目	今年度の目標	昨年度の実施状況
課内の情報の共有化 (課内会議の実施等)	それぞれの課題の繁忙となる環境総務課3年目にあたるため、これまで以上に情報共有を行うために課内会議に併せ、環境事業所内における係長会議を定期的実施し情報共有を強化したい。	課長以下4名中2名の職員の異動による入替によって、情報共有は必須であり、必要最低限の情報は共有しなければ組織が成り立たない状態であった。
庁内他部署との連携や協力体制	昨年同様、必要に応じ他部署と協力をしながら各事業を進めていく。	取扱う業務内容で、環境事業課、乙辺浄化センター、リサイクルセンター、下水道課、土木建設課、生活福祉課、総務課などと連携を取りながら業務を進めた。
人材育成・ノウハウ継承 (業務マニュアル等)	これまでの様々な経験やノウハウを継承しているが、環境総務課で経験できることは、できる限り経験をしながら各々のスキルアップにつなげたい。	臨時的な業務を扱う事が主の課であるため業務マニュアルは存在しないが、これまでの流れは資料としてファイリングしており振り返りができる状態としている。経験年数の浅い職員もファイルを見れば流れが解るようにしている。

環境部		環境事業課
1. 課の目的		
交野市内で排出される生活系ごみから、資源ごみをきちんと分別し、その他のごみは効果的に処理することにより、資源の有効活用をすすめ、地球環境の保全に資する。また、リサイクルセンターの閉鎖に伴い、平成29年度から缶・ビンの処理業務が移管される。		
2. 課の所掌する施策		
環境衛生の維持向上		
3. 課の現状と取り巻く環境変化		
課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・新炉稼働に伴う排出区分の変更、粗大ごみの一部有料化を実施するうえでの住民周知。 ・ごみ収集の効率化、現状体制の見直しにより更なる効率化を進め、併せて、ごみ収集業務の民間委託を含めた適正化の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の開催・広報紙掲載・ごみ出しマニュアル配布。 ・中長期的な視野に立ち直営比率や民間委託の適正化に向けた方針を定める。 	
取り組み項目	今年度の目標	昨年度の実施状況
課内の情報の共有化 (課内会議の実施等)	50回	20回以上
庁内他部署との連携や協力体制	必要に応じ会議を開催し更なる、連携や協力体制を図る	新炉稼働に向け、各関係機関との調整(四條畷市・四條畷市交野市清掃施設組合・環境総務課)
人材育成・ノウハウ継承 (業務マニュアル等)	事務処理マニュアル	窓口対応マニュアル

環境部		乙辺浄化センター
1. 課の目的		
良好なし尿処理体制を構築し、環境衛生の向上を図る		
2. 課の所掌する施策		
環境衛生の維持・向上		
3. 課の現状と取り巻く環境変化		
課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み	
施設の老朽化が著しいため早急な施設更新 し尿収集量減少に伴う収集体制の安定化 施設更新までの処理体制の維持	施設更新に向けて検討 安定化に向けた検討 施設の維持、委託先の確保及び監督	
4. 課の組織力強化のための取り組み		
取り組み項目	今年度の目標	昨年度の実施状況
課内の情報の共有化 (課内会議の実施等)	所内の情報共有を図るため、毎朝の朝礼を実施するとともに、随時会議を開催し業務の進行や課題の確認を行う。	所内の情報共有を図るため、毎朝の朝礼を実施するとともに、月に1回以上の会議を開催し、業務の進行や課題の確認を行った。
庁内他部署との連携や協力体制	施設更新に向け、関係機関及び関係部署等との協議、調整を行う。	施設更新に向け、府関係、開発調整課及び下水道課等との協議、調整を行った。
人材育成・ノウハウ継承 (業務マニュアル等)	廃棄物処理施設技術管理者講習を受講する。 マニュアル化できるものは、マニュアル化を完了する。	酸素欠乏危険作業主任者講習を受講した。 マニュアル化できるものは、概ねマニュアル化を完了した。

所管部名	環境部
所管課等名	環境衛生課

施策名称		低炭素で持続可能な社会づくり
施策目的		市民、事業者、行政が一体となり、地球規模の環境問題に目を向けながら地域で出来る行動を実践している 持続可能な地域社会を目指し、「環境にやさしいまち☆交野」と市内外に認識されている
今年度の重点目標		持続可能な地域社会の推進と協働体制を確立する
指針・法令等	"かたのサイズ"を目指す像	地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている ボランティアや地域活動などに参加して、やりがいがある
	関連法令	都市の低炭素化の促進に関する法律、地球温暖化対策の推進に関する法律等
	関連条例	大阪府温暖化の防止等に関する条例
	関連計画	交野市環境基本計画、市長戦略、温暖化対策実行実行計画((交野市環境マネジメントシステムが兼ねる)
	要綱等	交野市環境マネジメントシステム要綱
	業務マニュアル	
	ネットワーク	環境基本計画推進会議、環境フェスタ市民会議、K-EMS監査員、環境講座講師等

事業	名称	交野市環境マネジメントシステム(K-EMS)の推進			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	活動指標	温室効果ガス排出量	8,531t-CO ₂	8,619t-CO ₂	8,801t-CO ₂	
1	国府補助金	無し			予算・決算額	1,061千円	1,454千円	1,188千円
	位置付け	法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		A:改善・効率化	A:改善・効率化
	名称	環境保全の啓発			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
	概要	環境啓発事業の実施により環境保全意識を高める	活動指標	受講者数	150人	147人	127人	
2	国府補助金	無し			予算・決算額	636千円	634千円	484千円
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価		B:充実・拡大	B:充実・拡大
	名称	交野市環境基本計画の推進			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
	概要	市民・事業者との協働組織により、プロジェクトを推進する	活動指標	講座等の回数	65回	65回	63回	
3	国府補助金	無し			予算・決算額	3,024千円	2,683千円	2,000千円
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価		B:充実・拡大	B:充実・拡大
	名称	公共施設への太陽光パネルの設置			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
	概要	公共施設・公共用地へ太陽光パネルを設置し、低炭素社会の実現に寄与する	活動指標	太陽光パネルの設置	—	—	第4中学校(10kw)	
4	国府補助金	大阪府再生可能エネルギー等導入推進基金事業補助金			予算・決算額	0千円	0千円	19,598千円
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価			A:改善・効率化

所管部名	環境部
所管課等名	環境衛生課

施策名称		生活環境の保全
施策目的		公害の発生抑制、未然防止を図り良好な生活環境を保全する
今年度の重点目標		事業者は周辺環境に配慮して事業活動を営んでおり、良好な生活環境が維持されている
指針・法令等	"かたのサイズ"を目指す像	公害のない心地よく住める環境を守っている 川や池など水辺環境がきれい潤いがある
	関連法令	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法等
	関連条例	大阪府生活環境の保全等に関する条例
	関連計画	
	要綱等	新関西製鐵(株)星田工場環境保全委員会設置要綱
	業務マニュアル	窓口マニュアル
	ネットワーク	新関西製鐵(株)星田工場環境保全委員会

事業	名称	環境調査・監視体制の充実			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
					活動指標	的 確 な 調 査 の 実 施	的 確 な 調 査 の 実 施	的 確 な 調 査 の 実 施 に 努 め た
1	概要	大気・水質・騒音等の環境の現況把握を行う						
	国府補助金	大阪府公害防止事務費交付金			予算・決算額	22,498千円	22,492千円	18,174千円
	位置付け	法定事務	実施形態	直接・委託	一次評価		B: 充実・拡大	B: 充実・拡大
	名称	総合的な発生源対策			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
2	概要	法令に基づく事業所指導などの発生源対策を展開する			活動指標	苦情事案等の解決	50件	54件
	国府補助金	無し			予算・決算額	1,217千円	977千円	585千円
	位置付け	法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		B: 充実・拡大	B: 充実・拡大
	名称	総合的な発生源対策			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績

所管部名	環境部
所管課等名	環境衛生課

施策名称		自然環境の保全
施策目的		交野らしい自然環境が、適切に保全され、市民のみならず、自然と親しみたい人の憩いと共生の空間となっている 交野らしい里山の保全・創造に取り組んでいる市民が、活動の目標を設定し、相互に連携を図りながら、次世代に里山環境を継承していく
今年度の重点目標		里山から山間部をむすぶ沿路の危険木(ナラ枯れ)の点検をし、伐木等を行い、ハイカー等の安全確保に努める
指針・法令等	"かたのサイズ"を目指す像	里山の植生が豊かで大切な憩いの場となっている 山も里も四季折々の景観が楽しめ風情を感じる
	関連法令	森林法
	関連条例	交野市自然環境の保全等に関する条例
	関連計画	大阪地域森林計画、交野市森林整備計画
	要綱等	
	業務マニュアル	
	ネットワーク	里山ボランティア団体

事業	名称	自然・緑地環境等の維持管理			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	活動指標	指定した樹木等の保全支援	指定樹木	—	4件	4件
事業1	国府補助金	自然公園区域許可行為事務処理交付金	予算・決算額	313千円	372千円	706千円		
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価	B: 充実・拡大	B: 充実・拡大	
	名称	さとやま保全事業			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
	概要	活動指標	いさものふれあいの里の維持管理と活用 自然公園施設等に関する受託業務	自然と親しむ人の憩いと共生の空間づくり	適切な維持管理	適切な維持管理	適切な維持管理に努めた	
事業2	国府補助金	府民の森環境整備受託収入	予算・決算額	10,026千円	9,845千円	11,291千円		
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価	B: 充実・拡大	B: 充実・拡大	
	名称	創造の森等の適切な維持管理			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
	概要	活動指標	自然環境づくり 除草、危険木伐木	所管地の適切な管理	適切な維持管理	適切な維持管理	適切な維持管理に努めた	
事業3	国府補助金	無し	予算・決算額	1,200千円	1,200千円	2,128千円		
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価	B: 充実・拡大	B: 充実・拡大	
	名称	里山ナラ枯れ安全対策事業			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
	概要	活動指標	ナラ枯れ樹木の伐木を3カ年(H28~H30)で計画的に実施	危険木の伐木	65本	60本	—	
事業4	国府補助金	無し	予算・決算額	5,000千円	5,000千円	—		
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価	A: 改善・効率化		

事業 5	名 称	交野市山地対策協議会の運営			年 度	29年度目標	28年度見込	27年度実績	
	概 要	交野の豊かな山地自然に親しみ、適切な活用と保全に向けた取組を促進する。			活動 指標	適切な管理	危険木の伐木、案内板等の修繕	危険木の伐木、案内板等の修繕	危険木の伐木、案内板等の修繕
	国府補助金					予算・決算額	100千円	100千円	100千円
	位置付け	選択事務	実施形態	補助事業	一次評価	△	C:統合・縮小	C:統合・縮小	
						二次評価	△	C:統合・縮小	C:統合・縮小

所管部名	環境部
所管課等名	環境衛生課

施策名称		生活衛生の確保
施策目的		健康で快適な生活衛生状況の確保
今年度の重点目標		安心、安全で快適な生活環境の確保
指針・法令等	"かたのサイズ"を目指す像	道路や公園など生活環境がきれいに保たれている マナーを守り、周りに迷惑になることをしないよう心がけている
	関連法令	狂犬病予防法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、浄化槽法、水道法
	関連条例	大阪府特設水道条例
	関連計画	大阪府鳥獣保護管理事業計画、交野市鳥獣被害防止計画
	要綱等	交野市簡易専用水道管理運営指導要綱
	業務マニュアル	専用水道・特設水道確認申請、簡易専用水道・小規模貯水槽・浄化槽 指導・事務処理マニュアル
	ネットワーク	獣医、交野市有害鳥獣被害防止対策協議会

事業	名称	衛生害虫等対策、狂犬病の予防及びペットの適正管理			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	狂犬病発生時に備え予防接種率の向上を図る 蚊・ゆずりかなど衛生害虫の対策	活動指標	狂犬病予防注射接種数 衛生害虫相談件数と適正な対応	3,000件 170件	3,000件 170件	2,833件 161件
	国府補助金	無し	予算・決算額	4,596千円	4,369千円	2,006千円		
	位置付け	法定事務	実施形態	直接・委託	一次評価	B: 充実・拡大	B: 充実・拡大	
事業	名称	有害鳥獣被害対策			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	有害鳥獣による被害対策	活動指標	捕獲数	35頭 45頭	38頭	
	国府補助金	鳥獣保護等パッケージ事業補助金	予算・決算額	696千円	606千円	452千円		
	位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価	A: 改善・効率化	A: 改善・効率化	
事業	名称	水道法・浄化槽法に基づく事務			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	各種届出書の受理、法令遵守の啓発及び指導	活動指標	法定検査の受検数 簡易水道 法定検査の受検数 浄化槽	H28年度以上 H28年度以上	69件 210件	66件 200件
	国府補助金	権限移譲事務交付金	予算・決算額	288千円	264千円	126千円		
	位置付け	法定事務	実施形態	直接・委託	一次評価	B: 充実・拡大	B: 充実・拡大	

所管部名	環境部
所管課等名	環境事業課

施策名称		環境衛生の維持向上
施策目的		市民が、生活の中で排出したごみを適切にかつ効率的に処分し、衛生的な環境を享受している。
今年度の重点目標		新炉稼働に伴い、平成29年10月より変更となる、ごみ排出区分を説明会等により住民へ周知する。
指針・法令等	"かたのサイズ"を目指す像	マナーを守り、周囲に迷惑になる事をしないように心がけている道路や公園など、市域の生活環境がきれいに保たれている
	関連法令	廃棄物処理法・容器包装リサイクル法
	関連条例	交野市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
	関連計画	交野市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画・分別収集計画
	要綱等	
	業務マニュアル	
	ネットワーク	四條畷市交野市清掃施設組合、北河内4市リサイクル施設組合、ごみ処理広域化東大阪ブロック

事業	名称	概要	年度		29年度目標	28年度見込	27年度実績
			活動指標				
1	ごみの適正な収集及び処理・処分	ごみの適正な収集及び処理・処分を行う。リサイクルセンター閉鎖に伴い、缶・ピンの処理が移管され、予算が増額となっている。	総ごみ処理量		19,350トン	19,400トン	19,404トン
	有価物売却額			3,500千円	7,475千円	7,497千円	
	国府補助金	無し	予算・決算額		235,855千円	205,951千円	203,218千円
	位置付け	法定事務 実施形態 直接・委託	一次評価			A:改善・効率化	A:改善・効率化
2	ごみ処理施設の維持管理	施設や設備類の適切な維持管理。	活動指標		—	—	—
	国府補助金	無し	予算・決算額		1,558千円	1,901千円	1,859千円
	位置付け	選択事務 実施形態 直接実施	一次評価			A:改善・効率化	A:改善・効率化
3	蛍光管の拠点回収	蛍光管の適切な収集を行うため、拠点収集を行う。	活動指標	収集処理量	40,000本	36,170本	37,353本
	国府補助金	無し	予算・決算額		0千円	0千円	0千円
	位置付け	選択事務 実施形態 直接実施	一次評価			B:充実・拡大	B:充実・拡大
4	まごころダイレクト収集	日常のごみ出しが困難なひとり暮らしの高齢者や障害のある人を対象に、戸別に玄関先までごみの収集に伺うサービス。	活動指標	利用者数	65件	60件	45件
	国府補助金	無し	予算・決算額		0千円	0千円	0千円
	位置付け	選択事務 実施形態 直接・委託	一次評価			A:改善・効率化	A:改善・効率化

事業 5	名称	リユース自転車。			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績	
	概要	廃棄自転車の有効活用			活動指標	リユース台数	130台	104台	133台
	国府補助金	無し			予算・決算額	0千円	0千円	0千円	
	位置付け	選択事務	実施形態	直接実施	一次評価		A:改善・効率化	A:改善・効率化	
事業 6	名称	家庭系ごみの排出区分の変更、及び、粗大ごみの一部有料化			年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績	
	概要	新ごみ処理施設の稼働により、ごみの排出区分が変更となる、また、併せて粗大ごみの一部有料化を実施する。			活動指標	住民説明会	200回	—	—
	国府補助金				予算・決算額	35,096千円	—	—	
	位置付け		実施形態		一次評価				

所管部名	環境部
所管課等名	乙辺浄化センター

施策名称		環境衛生の維持・向上
施策目的		衛生的で快適な生活環境の確保。 人体から排出された汚物を自然界に大きな負担をかけないように浄化し戻す。
今年度の重点目標		施設更新に向けて検討する。
指針・法令等	"かたのサイズ"を目指す像	川や池など水辺環境がきれいで潤いがある。 地球温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている。
	関連法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	関連条例	交野市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・規則 交野市立乙辺浄化センター条例・規則
	関連計画	交野市一般廃棄物(生活排水)処理基本計画 交野市一般廃棄物処理実施計画
	要綱等	
	業務マニュアル	
	ネットワーク	し尿収集運搬委託業者 浄化槽清掃業許可業者 し尿・浄化槽汚泥処理委託業者

事業	1	名称	し尿収集運搬業務の円滑な推進		年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	委託業者が市内からし尿を収集し、乙辺浄化センターに運搬搬入する。	活動指標	し尿収集処理世帯数 その他収集処理件数	495世帯 1,310件	500世帯 1,250件	509世帯 1,167件
国府補助金	無し	予算・決算額	26,952千円		24,204千円	19,628千円		
位置付け	法定事務	実施形態	業務委託	一次評価	C: 統合・縮小		C: 統合・縮小	
事業	2	名称	し尿処理手数料の収納事務		年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	一般廃棄物(し尿)処理手数料の徴収。	活動指標	収納率 収納額	100% 10,418千円	100% 13,279千円	100% 8,797千円
国府補助金	無し	予算・決算額	3,481千円		2,203千円	2,138千円		
位置付け	選択事務	実施形態	直接・委託	一次評価	B: 充実・拡大		B: 充実・拡大	
事業	3	名称	し尿処理施設の維持管理及びし尿処理業務の適正な実施		年度	29年度目標	28年度見込	27年度実績
		概要	適切な施設の維持管理及び搬入されたし尿・浄化槽汚泥を前処理し、処理委託業者で処理。	活動指標	処理量	5,800トン	5,636トン	5,565トン
国府補助金	無し	予算・決算額	147,970千円		127,343千円	123,717千円		
位置付け	法定事務	実施形態	直接・委託	一次評価	A: 改善・効率化		A: 改善・効率化	